

「学校教育目標」と「令和5年度重点目標」に向けて

学校教育目標

「共に生きることを喜び かしこく たくましい子を育てます」
～みんなとつながる・みんなでやりぬく・光りかがやくさくらっ子～

令和5年度重点目標

「あいさつの日常化」「やり抜く力の育成」「つながり力を大切に」

豊かな心

互いに尊重し合いながら自己有用感を高める教育活動を推進する。①道徳科を中心に道徳的価値を明確にし、道徳的判断力、心情等を育てる。②育てたい子ども像を明確にした体験活動を通して、計画的に「なかよし活動」を行う。③計画的に人権の視点を意識した授業や出前授業を行い、人権尊重を基盤とする学級・学年づくりをする。

健やかな体

児童の体育・健康面から課題を明確にし、体育科だけでなく、教育活動全体を通して健やかな体を目指す。①なわとびタイムの継続等、授業だけでなく、体を動かす活動を充実させる。②自分の体力や健康を見つめ、健康状況を把握し、よりよい健康習慣を身に付ける。

資質・能力の育成

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- 人間関係の育成・学力の向上を目指す。
- 生命・安全、人権を大切にす。
- 地域社会のネットワークを生かす。

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- 共に生きることを喜び、かしこく、たくましく生きることができ生命・安全・人権を大切にすような、思考力・判断力。
- 善いもの・美しいもの・尊いものにあこがれる豊かな人権意識を育み、自分の生き方を見つめている。
- 学校運営協議会・PTA・桜岡学援隊との円滑な連携を組む。人とつながる体験。やり抜く力。汎用的な資質能力。

子どもの実態

- ・自分の思いや考えをもつことができる。
- ・与えられた課題に対して、頑張ろうとすることができ。

子どもの発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子どもへの指導

- スタンダードの徹底ときめ細やかな指導
- ・SCやSSW等と連携し、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、支援する。
- 組織で対応する児童指導体制
- ・職員間の情報共有及び外部機関との連携やYPの活用により、チームで支援する。

目指す子どもの姿

- ・学び合いの中で自分の思いや考えを深められる
- ・人と人とのつながりを大切にできる
- ・課題解決に向けて目的や方法を考え最後までやり遂げる

何を学ぶか

○教育課程の編成

- 教育活動全体を通じた「やり抜く力」の育成
- 「つながり力」を大切にす課題解決学習。
- 1～6年生の6年間の系統を意識した授業づくり

どのように学ぶか

○教育課程の実施

- 「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善を行う。
- なかよし&たてわり活動などの充実を図る。
- 学級だけでなく学年で子どもたちを育成する。

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 学校研究及び校内研修の充実
- いじめ、不登校を生まない学年、学級経営
- SC、SSW、支援チーム等との連携
- 家庭、地域との情報共有
- 特別支援・児童指導部会のチーム対応
- 学びの連続性を意識した幼保小中の連携

安心・安全を守る

- ・教育活動全般における万全の安全対策
- ・自分の命は自分で守る子どもの育成（安全教育・防災教育）
- ・だれもが安心して過ごせる学校（人権尊重）

開かれた学校作り

- ・地域の人材や教材を生かした地域と共に生きる学校づくり
- ・学校運営協議会の評価等を受け、教育活動の改善を図る。
- ・学校便り、学年便り、メール配信、HPを活用した積極的な情報発信